

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

津山市立清泉小の児童たちが、作詞作曲をしてオリジナルの応援歌を作りました。記事を読み、質問に答えましょう。

新型コロナウイルスの感染拡大で気が沈んでいる地域住民や最前線で頑張っている医療従事者を励まそうと、清泉小(津山市綾部)の児童たちが作詞作曲をしたオリジナルの応援歌を完成させた。曲名は「みんな元気で 笑顔に!」。10月に開かれる運動会で録音した歌を流し、住民らにお披露目する。(山根上貴)

清泉小児童が作詞作曲

歌でみんなを元気に

歌の練習をする4年生



新型コロナウイルス感染防止ニカの使用を控えた。そのため、同小ではしばしば厳しい学習環境の中ら、音楽の授業でも音楽の楽しさを学んコーダーや鍵盤ハーモニカでもほしいと、植月美穂校長が歌作りを提案。3年生以上の51人が取り組んだ。

医療従事者ら応援 来月、運動会で披露

児童たちは、非常勤講師で音楽を担当している吉竹優子さんから作詞と作曲の基本的な知識を教わった。「世界中が笑顔になれますように」「今できることをつづけていこう」など率直な思いを歌詞につづった。歌の最後には「医療従事者のみなさんありがとう。希望の光が見えてくる」と感謝の言葉を添えた。作曲は、児童たちが楽譜にしたり、口ずさんだフレーズを録音したりしたものをもとに、吉竹さんが一つのメロディーにつなぎ合わせた。新型コロナウイルス収束後も地域のイベントで歌を披露できるよう、CDに収録した。「みんなの命を守るため」という詩を書き、歌詞に採用されたという4年野村藍さん(9)は「この歌を聴いてもらって、みんなが元気になってほしい」と話した。

山陽新聞制作州ワイド版

9月19日付、山陽新聞制作州ワイド版

Q1 ★★★★★

清泉小の児童たちが作った歌は誰を応援していますか。見出しやド(第1段落)に注目して答えましょう。

Q2 ★★★★★

応援歌の歌詞の一部を記事の中から見つけましょう。かぎかっこが付いています。

Q3 ★★★★★

聞いた人が元気になるような言葉をメロディーにのせて、歌ってみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

歌には人の気持ちを変える力があるね

